

## 新刊図書の紹介

# 鶴見川とその流域の再生

### 鶴見川流域水マスタープラン策定に向けた提言

鶴見川は、東京都町田市の源流から、京浜工業地帯の河口まで、その環境によって多くの表情を見せる全長42.5km、流域面積は235km<sup>2</sup>の川です。この川の流域面積の約85%以上は市街地化しており、約184万人にものぼる流域住民の貴重な水と緑の憩いの空間として利用されています。

この多様な側面を持つ都市型河川で、「鶴見川流域水マスタープラン」策定に向けての提言を行うことを目的に「鶴見川流域水委員会準備会」が設置されました。これは、多数の行政部門間の連携・協働、そして住民参加型の地域社会作りの意味でも、新たな挑戦であり、壮大な社会実験の始まりといえ、世界的にみても流域マネジメントの先進的な試みです。

本書は、準備会で取りまとめられた提言に、検討の過程で用いた流域データや分析資料をはじめ、写真や図表等提言の理解の助けとなる資料を加え、よりわかりやすく編集したものです。

ご注文は、下記までお願いします。

財団法人リバーフロント整備センター

TEL : 03-3265-7121 FAX : 03-3265-7456

http : //www.rfc.or.jp 担当 : 鎌田



監修

国土交通省関東地方整備局京浜工事事務所  
発行

財団法人 リバーフロント整備センター

A4判・提言編：119ページ

資料編：293ページ

価格：2,800円(税込み)

ISBN4-947726-25-3

## 水の文化情報誌「FRONT」のリニューアルについて

「FRONT」編集部

1988年10月の創刊以来、【水の文化情報誌】としてご愛読を賜っております「FRONT」も今年の3月号で通算162号を数えるに至り、水や河川の分野における広報・啓発に何がしかの寄与ができたものと思っております。

その一方で、本誌は、写真の美観を維持すべく、通常の雑誌より紙面を大きくしておりますが、持ち運びや書架での保存に不便であるという読者の皆様方からのご意見を頂いております。

このため、今年4月号より雑誌の大きさを今までの写真の美観を重視した大型の変形版から、持ち運びや保存に便利な通常のA4版に近いものに変更致しました。

また、製作コストも切りつめ、わずかではありますが定価を値下げさせていただき、より多くの方にご愛読いただけるように致しました。

今後とも雑誌の内容の向上を図り、読者の方々のご期待に応えるべく努力して参りますので、従来にも増して皆様の暖かいご支援を賜りますようお願い致します。